

2024 レーザー春の中国選手権 帆走指示書

[NP]の表記は、艇は他艇の規則違反に対して抗議できないことを意味する。これは、RRS 60.1 (a)を変更している。

[SP]の表記は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用できることを意味する。これは、RRS 63.1、付則A 5.1及びA 10を変更している。

1 適用規則

本レースには、2021～2024国際セーリング競技規則（以下RRSという）に定義された「規則」を適用する。

1.1 RRS 付則 T を適用する。

2 帆走指示書の変更

2.1 帆走指示書の変更は、観音マリーナに設置された公式掲示板及びLINEチャットに当該クラスの予告信号の60分前までに掲示される。

2.2 また、海上においては、レースコミッティーボートにL旗を掲揚すると同時に、可能な限り全選手に口頭で通告される。内容を確認した艇は手を振ってこれに応じること。なお、海上における通告については、救済の要求の対象とはならない。

3 選手とのコミュニケーション

3.1 競技者への通告は、観音マリーナに設置された公式掲示板及びLINEチャットに掲示される。

3.2 艇は安全のため携帯電話を搭載してもよい。ただしレース中は使用してはならない。

4 行動規範

競技者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発する信号

5.1 陸上で発する信号は、観音マリーナの信号柱に掲揚される。

5.2 [NP][SP] 音響信号1声とともにD旗が掲揚された場合、「予告信号は30分以降に発する。」ことを意味し、競技艇はD旗掲揚までハーバーを離れてはならない。ただし観音マリーナ以外から出艇する艇には適用しない。

5.3 レース日程に示された個別のレースに対して、AP旗は掲揚しない。予告信号予定時刻の30分前までにD旗が掲揚されない場合、そのレースの予告信号は時間の定めなく延期されている。

5.4 [NP][SP]Y旗が掲揚された場合、RRS 40.1の規定に従うこと。

6 レースの日程及びクラス旗とコース信号

6.1 その日の、最初のレース予定予告信号の時刻及びクラス旗は、次のとおりとする。

クラス	6月8日	6月9日	クラス旗
ILCA 7	11:55	9:55	レーザークラス旗(白地に赤)
ILCA 6	12:00	10:00	レーザーラジアルクラス旗(緑地に赤)

- 6.2 各日とも、最初のレースに引き続き次のレースを実施する。
- 6.3 引き続き行われるクラスの予告信号は、任意のクラスが任意の時刻に掲揚される。
- 6.4 競技者に昼食の時間を設けるため、A Pの下にナイフとフォークのロゴマークが掲げられた場合、少なくとも15分間は予告信号が掲揚されることはない。

7 レースエリア及びコース

- 7.1 レースエリアについては、井口沖の海面とする。
- 7.2 コースについては、別図に示すとおりであるが、距離及び角度は、概略を表したものであり、海面の状況により一致しない場合がある。
- 7.3 スタートマーク、各回航マーク及びフィニッシュマークは、コース図に示されたとおり定められた側で通過すること。
- 7.4 別添のコース図に示すように、最初の1マークに限りオレンジ色のオフセットマークを設置する。各艇は1マーク回航後、オフセットマークも回航すること。

8 マーク

- 8.1 1マークは、黄色の円柱形ブイとする。
- 8.3 2マークはゲートマークとし、黄色の三角錐ブイを使用する。
- 8.4 スタートマークは、スターボードエンドに位置しオレンジ旗を掲揚したレースコミッティーボート及びポートエンドに位置しオレンジ旗を掲揚したレースコミッティーボートとする。
- 8.5 フィニッシュマークは、ブルー旗を掲げたレースコミッティーボート及びその直近の赤色棒状ブイとする。

9 スタート

- 9.1 スタートラインは、スタートマーク上でオレンジ旗を掲げたレースコミッティーボートのポール若しくはマストの間とする。
- 9.2 一連のスタート手続きの開始に先立ち、予告信号の5分以前にスタートラインの運営艇にオレンジ旗を掲揚する。
- 9.4 準備信号が発せられていない艇は、レース中の艇を避けなければならない。
- 9.5 スタート信号後4分以降は、当該クラスのスタートラインは消滅し、4分以内にスタートしなかった艇は審問なしにDNSと記録される。これは、付則A 5. 1を変更するものである。
- 9.6 R R S 3 0. 4が適用され、その後再スタート、再レースまたは予定変更となった場合、L旗を掲げるとともにその艇のセール番号をスタート信号まで本部船に掲示する。これは、R R S 3 0. 4の後段を変更している。

10 コースの次のレグの変更

- a) コースの次のレグの変更についてはR R S 3 3によるが、プラス旗及びマイナス旗については、視認できる距離であるため表示しない。これはR R S 3 3を変更するものである。
- b) R R S 3 3が適用された場合には、次のレグの最初のマークは黄色円柱形マークに

変えて黄色の三角錐ブイが使用される。

11 フィニッシュライン

通常のフィニッシュラインは、フィニッシュマーク上でブルー旗を掲げたレースコミッティーボートのポール若しくはマストと直近の赤色棒状ブイのコースの側を結んだ線とする。

12 ペナルティー

12.1 RRS 42 の違反に対しては、付則 P による。

12.2 出走申告及び帰着申告手続き違反等に対しては、レース委員会は抗議することなく 1 点を加点し S T P と記載する。これは、RRS 63.1 及び付則 A 5.1 を変更している。

13 タイムリミットとフィニッシュウインド

13.1 スタートからのタイムリミットは 60 分とし、最初の艇が 60 分以内にフィニッシュしそうでない場合、レースを中止することができる。

13.2 フィニッシュウインドは、最初の艇がコースの帆走をしてフィニッシュした後、フィニッシュするまでの時間で 10 分とする。

13.3 フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュしない艇は審問なしに『フィニッシュしなかった(TLE)』と記録され、その艇の得点は参加艇数 + 1 の順位得点とする。この項はRRS35、A5.1、A5.2を変更している。

14 審問要求

14.1 抗議書の提出締切時刻は、その日の最後のクラスのレース終了後 60 分以内(L I N E 又は公式掲示)とし、観音マリーナにおいて受け付ける。

14.2 抗議の通告は、審問の場所及び時刻、抗議の当事者等を選手に知らせるため、原則として 抗議締切時刻後 30 分以内に公式掲示又は L I N E に掲示される。

14.3 レース委員会またはプロテスト委員会による艇への抗議の通告については、RRS 61.1 (b) を変更し、公式掲示又は L I N E に被抗議艇のセール番号を掲示する。

14.4 指示 16 ~ 18 に関する違反については、艇からの抗議の対象とはならないが、その事実をレース委員会若しくはプロテスト委員会へ報告することは妨げない。

15 得点

15.1 付則 A 2 を変更し、完了したレースが 4 レース未満の場合、全てのレースの得点の合計をその艇の得点とする。

15.2 参加申込みと異なる艇、セール及び乗艇者により競技した場合、付則 A 5.1 を変更し、そのレースについては D N C として扱われる。ただし、破損、負傷等で当該レースにおいてセーリングする前にレース委員会(委員会の公示)の了承を得た場合は、この限りでない。

15.3 付則 T の調停を受け入れた艇の得点の略号は「P R P」とする。

16 艇及びセール

16.1 大会は 6 レースを予定しているが、1 レース以上をもって成立する。

- 16.2 大会期間中にレース委員会は任意にインスペクション（検査）を行うことができ、クラス規則に抵触した場合、その艇はレース委員会から抗議される。
- 16.3 非権利艇の影響等の不可抗力による破損については、レース委員会の了解を得た場合に限り交換が認められる。

17 [NP][SP]安全（出走申告、帰着申告等）

- 17.1 安全を確保するため、選手または代表者は、その日最初のレース予定予告信号の30分前までに「レース申告受付所」で出艇申告として、署名用紙に署名をしなければならない。
- 17.2 また、同様にその日の最終レースの終了後60分以内に「レース申告受付所」で出艇申告として、署名用紙に署名をしなければならない。
- 17.3 レースを途中でリタイアした競技者は、その旨を最寄りの運営艇に伝えること。それが出来なかった場合には、帰着後その旨をLINEで申告すること。
- 17.4 クラスルールに定めがある場合は、クラスルールに適合したバウラインを搭載すること。

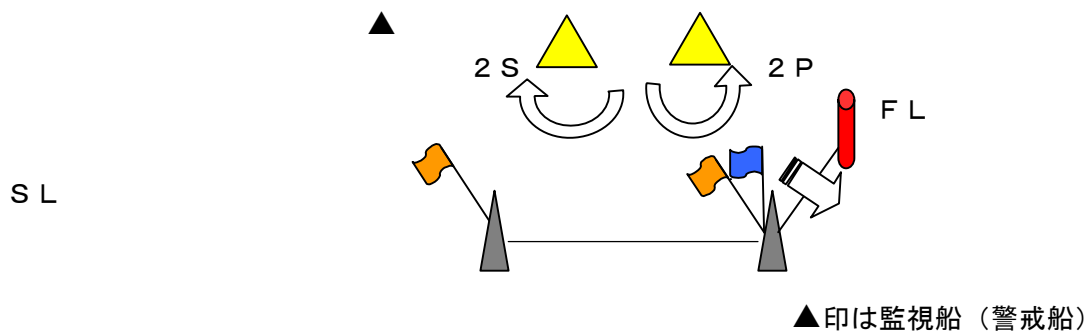
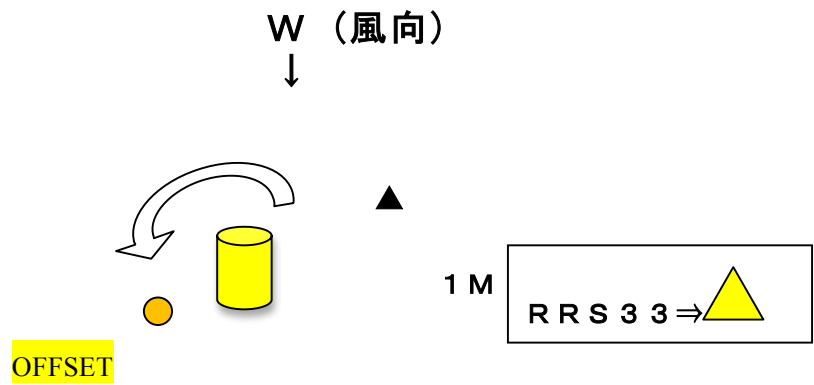
18 [NP][SP]ゴミの処理

ゴミについては海面に投棄してはならない。運営艇に処分を依頼してもよい。

19 リスクステートメント

RRS3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング。スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な障害、死亡のリスクである。

コース図 (ソーセージコース)



回航マーク順

LR2 : スタート → 1 M → OFFSET → 2 G → 1 M → 2 P → フィニッシュ

注) オフセットマークまでの距離は40~50m程度

注) ゲート間は8~10艇身程度

注) フィニッシュラインは、最終マークからのコースに対して直角が原則